

「血清尿酸値と久山町スコアを用いた動脈硬化性心血管疾患発症リスクの関連性の検討」について

1. 研究の対象

2020年1月1日～2022年12月31日の間に当院健診センターで血液検査および尿検査を受けられた40～79歳の方。

2. 研究目的・方法

尿酸は、プリン体が原料となって作られる老廃物です。血清尿酸値が高い状態が持続すると、痛風や尿路結石、腎障害を引き起こす可能性があるほか、動脈硬化を促進させることが知られています。しかし、血清尿酸値は新しい動脈硬化性疾患予防ガイドラインに採用されている動脈硬化性疾患の発症を予測するスコア（久山町スコア）の項目に含まれていません。そこで、当院の健診を受けていただいた方のデータを院内電子カルテより用いて血清尿酸値と久山町スコアとの関連を調べます。この研究により、尿酸が動脈硬化性疾患のリスクマーカーであることを評価できます。

研究期間は病院長による許可日から2026年12月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、血圧等の基本的な情報と血液・尿検査データを使用させていただきます。

- ・健診受診者背景：年齢、性別
- ・健診情報：BMI、腹囲、収縮期血圧、喫煙習慣、運動習慣
- ・血液学的検査：Hb
- ・血液生化学検査：TC、TG、HDL-C、LDL-C、sCr、eGFR、UA、空腹時血糖、HbA1c
- ・尿検査：尿蛋白定性
- ・ASCVD（Atherosclerotic cardiovascular disease, 動脈硬化性心血管疾患）リスク

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院

静岡県磐田市大久保 512-3

0538-38-5000

研究責任者：腎臓内科 松山 貴司